学校番号	1004

平成 31 年度　家庭科

教科	家庭	科目	服飾手芸	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・手芸品を創造的に制作し、服飾に活用することができるようになることが目標です。
・基本をしっかり身につけることがよい作品づくりにつながります。丁寧に、根気強く作品制作に取り組んでください。
・授業では安全に十分留意し、集中して実習を行いましょう。

2　学習の到達目標

手芸の種類、特徴及び変遷、各種手芸の技法などに関する知識と技術を習得させ、手芸品を創造的に制作し、服飾に活用する能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	ファッションデザイン及びファッション造形のための素材づくりに関する課題について関心をもち、その改善･向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに実践的な態度を身につけている。	ファッションデザイン及びファッション造形のための素材づくりに関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、服飾手芸に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	ファッションデザイン及びファッション造形のための素材づくりに関する基礎的・基本的な技術を身につけ、服飾に活用できるよう合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	ファッションデザイン及びファッション造形のための素材づくりに関する基礎的・基本的な技術を身につけ、服飾手芸の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ワークシート 作品 進度 発表 自己評価	学習状況の観察 ワークシート 作品 進度 発表 自己評価 相互評価	学習状況の観察 ワークシート 作品 進度 発表 自己評価 相互評価 実技テスト	学習状況の観察 ワークシート 作品 発表 自己評価 相互評価

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="3">1学期</td><td>手縫い</td><td>ピンクッションの制作
刺し子のコースター制作</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="4">a:各種手芸の特徴や変遷、技法などについて関心をもち、意欲的に取り組んでいる。
B:見本を見たり触れたりして、手芸の技法や特徴を理解し、技法や仕上げの方法を考え、自分の作品制作に活かす事ができる。
C:基礎的・基本的な技術を身につけ、計画通りに進めることができる。
D:各種手芸の技法を活用して作品を制作し、ファッションデザインやファッション造形に活かすことができるようになる。</td><td rowspan="4">授業観察
ワークシート
進度
作品
発表
自己評価
相互評価
実技テスト</td></tr>
<tr><td>織物</td><td>コースターの制作
アクセサリーケースの制作</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>ミシン</td><td>ミニチュアパーカーの制作</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>2学期</td><td>編み物・刺繍</td><td>ネックウォーマーの制作
クロスステッチ作品制作</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>3学期</td><td>各種手芸</td><td>自由作品制作</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>a:自由作品制作について関心をもち、意欲的に取り組むことができる。
b:授業で身につけた各種手芸の技術を自由作品の中に合理的に取り入れることができる。
c:自分で計画を立て、服飾への活用を想定した自由作品を制作できる。
d:手芸品を創造的に制作し、服飾に活用することができる。</td><td>授業観察
ワークシート
進度
作品
発表
自己評価
相互評価
実技テスト</td></tr>
</table>

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。